

NY マーケットレポート (2015 年 1 月 14 日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高が 3 ヶ月ぶりのマイナスとなり、2014 年 1 月以来 11 ヶ月ぶりの大きな下げ幅となったことを受けて、FRB の利上げ開始が想定よりも遅れるとの観測が広がり、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。ドル/円は、一時 116.08 まで下落し、12 月 16 日以来の安値を付ける動きとなった。また、欧米の株価が大きく下落したことから、投資家のリスク回避の動きが強まり、クロス円も軟調な動きとなった。その後、円買いが一巡し、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。そして、終盤には株価が下げ幅を縮小したことや、原油価格が大きく反発したことを受けて、ドル円・クロス円は終盤まで堅調な展開が続いた。

2015/1/14 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.08	117.97	116.75
EUR/JPY	138.15	138.90	137.64
GBP/JPY	178.06	178.88	176.92
AUD/JPY	94.89	96.35	94.35
EUR/USD	1.1801	1.1809	1.1764

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.17	116.55
EUR/JPY	138.16	137.00
GBP/JPY	178.07	176.88
AUD/JPY	95.40	94.77
EUR/USD	1.1812	1.1728

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16795.96	-291.75
ハンセン指数	24112.60	-103.37
上海総合	3222.44	-12.86
韓国総合指数	1913.66	-3.48
豪ASX200	5353.60	-51.09
インドSENSEX指数	27346.82	-78.91
シンガポールST指数	3326.16	-14.91

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6388.46	-153.74
仏CAC40	4223.24	-67.04
独DAX	9817.08	-123.92
ST欧州600	339.67	-5.10
西IBEX35指数	9846.00	-120.00
伊FTSE MIB指数	18410.68	-298.25
南ア 全株指数	48057.46	-1375.54

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.31	117.44	116.08
EUR/JPY	138.25	138.38	137.28
GBP/JPY	178.65	178.80	177.09
AUD/JPY	95.57	95.73	94.81
NZD/JPY	90.54	90.69	90.05
EUR/USD	1.1785	1.1847	1.1755
AUD/USD	0.8147	0.8179	0.8123

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17427.09	-186.59
S&P500	2011.27	-11.76
NASDAQ	4639.32	-22.18
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14084.43	-102.73
ブラジルボルサ指数	40984.22	-494.04
ボネバ指数	47645.87	-395.80

1/15 経済指標スケジュール
08:50 【日】12月国内企業物価指数
08:50 【日】11月機械受注
09:01 【英】12月RICS住宅価格
09:30 【豪】12月雇用者数
09:30 【豪】12月労働参加率
14:00 【シンガポール】11月小売売上高
17:00 【トルコ】10月失業率
18:00 【ノルウェー】12月貿易収支
19:00 【欧】11月貿易収支
22:30 【米】新規失業保険申請件数
22:30 【米】失業保険継続受給者数
22:30 【米】1月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:30 【米】12月生産者物価指数
23:00 【米】12月中古住宅販売件数
00:00 【米】1月フィラデルフィア連銀景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1234.50	+0.10
NY 原油	48.48	+2.59
CMEコーン	381.00	-4.75
CBOT 大豆	1009.25	+5.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.49%	0.53%
3年債	0.83%	0.89%
5年債	1.32%	1.37%
7年債	1.62%	1.67%
10年債	1.85%	1.90%
30年債	2.47%	2.50%

1/15 主要会議・講演・その他予定
・黒田日銀総裁 挨拶

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

MBA 住宅ローン申請指数（前週比） 49.1%（前回 11.1%）



(出所:ブルームバーグ)

21 : 00

≪ 企業決算 ≫

米 JP モルガン

第 4 四半期 1 株利益 1.19 ドル（予想 1.31 ドル）

22:00

ドル/円 116.90 ユーロ/円 137.42 ユーロ/ドル 1.1758

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6414.99	-127.21	ダウ INDEX FUTURE	17435	-1.00
仏 CAC40	4264.48	-25.80	S&P500 FUTURE	2005.10	-11.00
独 DAX	9884.10	-56.90	NASDAQ FUTURE	4141.25	-17.25

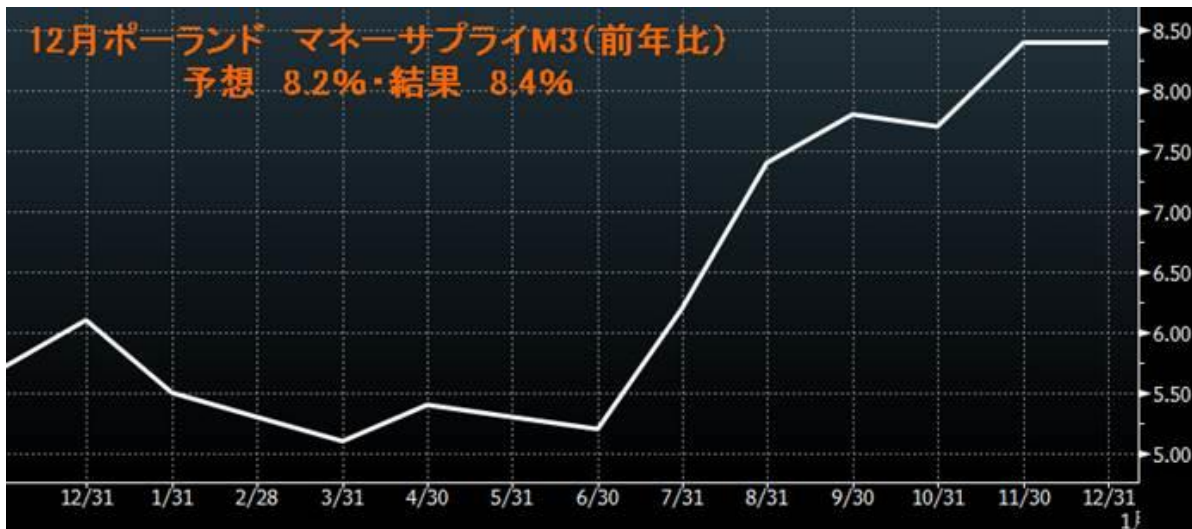
(出所:SBILM)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月ポーランド マネーサプライ M3 (前月比) 2.7% (予想 2.5%・前回 0.4%)

12 月ポーランド マネーサプライ M3 (前年比) 8.4% (予想 8.2%・前回 8.4%)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 03

◀ 企業決算 ▶

米ウェルズ・ファーゴ

第4四半期1株利益 1.02 ドル (予想 1.02 ドル)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月米小売売上高 (前月比) -0.9% (予想 -0.1%・前回 0.4%)

前回発表の 0.7% から 0.4% に修正

12 月米小売売上高 [除自動車] -1.0% (予想 0.0%・前回 0.1%)

前回発表の 0.5% から 0.1% に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米小売売上高》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月	前年同月
小売売上高	-0.9	0.4	0.3	-0.1	0.6	0.3	4.6
除く自動車	-1.0	0.1	0.2	0.1	0.3	0.2	3.2
自動車・部品	-0.7	1.6	0.7	-0.7	1.8	0.7	8.6
建設資材等	-1.9	1.6	0.1	-0.2	0.7	-1.0	5.2
食品・飲料	0.3	0.3	0.2	0.4	0.5	-0.2	2.4
総合小売店	-0.9	0.3	-0.1	-0.2	0.2	0.6	1.4
大規模小売店	-0.2	0.8	-0.1	-0.7	-0.8	0.6	-0.6
その他小売店	-1.9	-0.8	1.3	-1.0	1.1	0.8	0.9

(前月比%)

【米小売売上高】

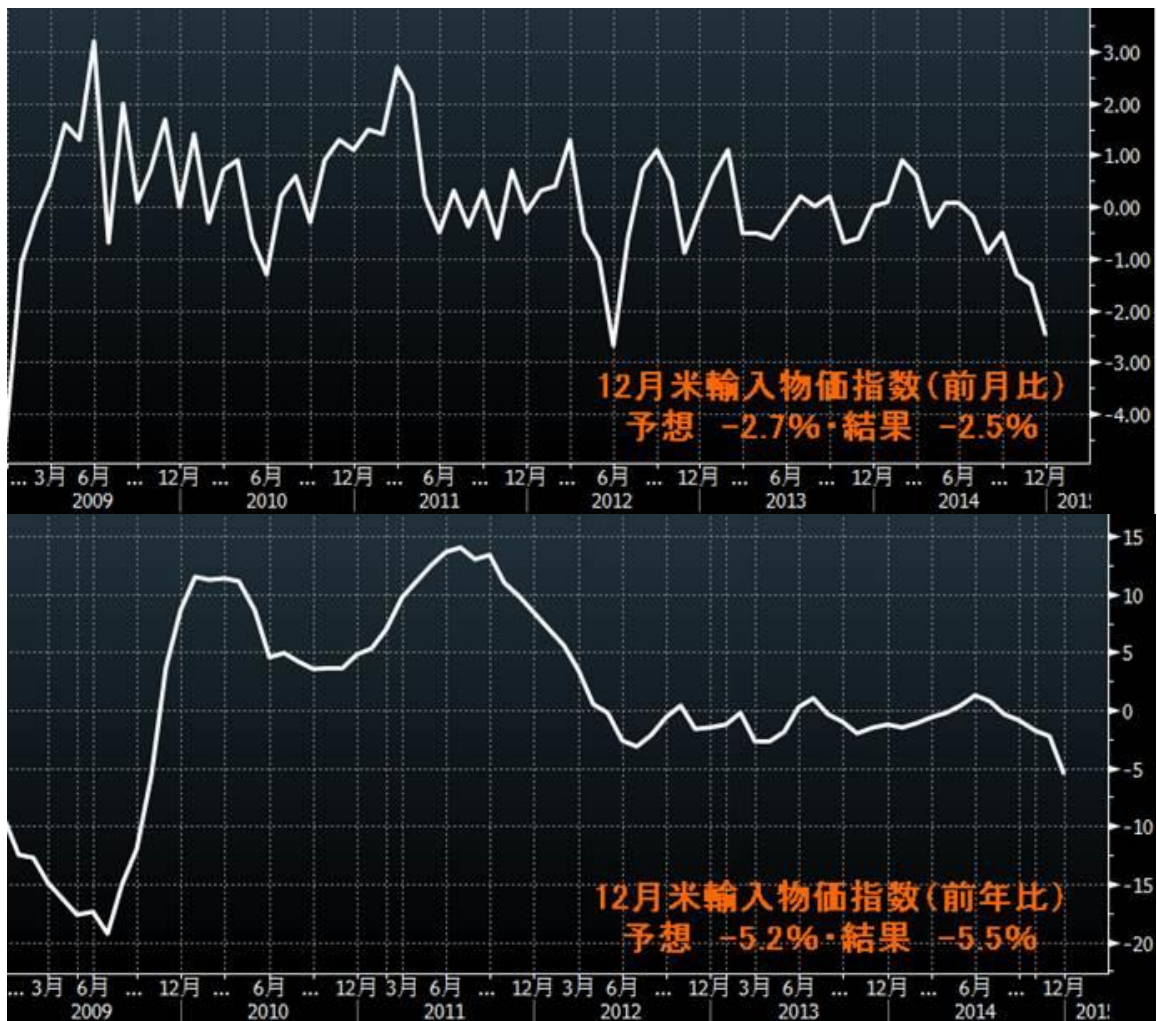
小売売上高は、米国商務省が百貨店やスーパーの売上調査を基にして発表している指標である。個人消費は GDP の約 70% を占めており、小売売上高は個人消費の動向を見る上で重要な経済指標の一つであり、米国経済に与える影響も大きいと注目されている。

22 : 30

《 経済指標の結果 》

12 月米輸入物価指数 (前月比) -2.5% (予想 -2.7%・前回 -1.8%)
 前回発表の-1.5%から-1.8%に修正

12 月米輸入物価指数 (前年比) -5.5% (予想 -5.2%・前回 -3.0%)
 前回発表の-2.3%から-3.0%に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米輸出入物価》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
全輸入	-2.5	-1.8	-1.4	-0.8	-0.8	-0.3
石油	-16.6	-9.1	-7.1	-3.7	-3.6	-1.5
非石油	0.1	-0.3	-0.2	-0.1	-0.1	0.0
食品・飲料等	0.9	-0.5	1.1	0.2	0.7	1.1
資本財	-0.1	-0.2	-0.1	-0.1	0.0	0.0
自動車・部品	0.0	-0.1	-0.1	-0.2	0.1	-0.6
消費財	-0.2	-0.1	-0.2	0.0	0.0	-0.1

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
全輸出	-1.2	-0.8	-0.9	-0.4	-0.5	0.1
農業	-0.7	0.4	-2.2	-1.6	-3.1	-1.8
非農業	-1.2	-1.0	-0.9	-0.2	-0.2	0.2
食品・飲料等	-0.9	0.3	-2.1	-1.5	-2.8	-1.4
資本財	0.0	-0.1	-0.0	0.0	0.1	-0.3
自動車・部品	0.0	0.0	0.2	-0.1	-0.1	0.1
消費財	-0.2	-0.3	-0.3	-0.3	0.1	0.3

【輸入物価指数】

輸入物価指数は、輸入時の価格を指数化したものであり、特に、他の物価関連の指標と同様に国内のインフレ動向の先行指標の一つとして注目される経済指標。ただ、輸入時ということで、原油相場や為替相場の影響を受ける傾向にある。



(出所: ネットダニアー)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12月カナダ住宅価格指数(前月比) -0.2%(前回 -0.3%)

12月カナダ住宅価格指数(前年比) 4.9%(前回 5.2%)



(出所: ブルームバーク)



23 : 00

《 経済指標の結果 》

10月メキシコ総設備投資 6.8% (予想 5.1%・前回 5.7%)



23 : 00

《 要人発言 》

プロッサー・フィラデルフィア連銀総裁～講演テキスト

- ・「米金融当局は日程ではなくデータに依存を」
- ・「2015 年の米成長率は、3%前後と予想」
- ・「利上げの遅れは危険だと調査研究は示唆」
- ・「米経済の改善は持続」

<< NY 外国為替市場 序盤 >>

序盤の外国為替市場は、東京や欧州の株価が軒並み大幅安となったことで、リスク回避の動きが強まっており、序盤からドル円・クロス円は軟調な展開となった。そして、12月の米小売売上高が大きく減少したことで、米景気への慎重な見方が広がったことから、ドル売り・円買いが優勢となった。ドル/円は 116.08 まで下落し、12月16日以来の安値を付ける動きとなった。

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17431.36	-182.32
ナスダック	4619.88	-41.62

(出所:SBILM)

0 : 00

<< 経済指標の結果 >>

11月米企業在庫(前月比) 0.2%(予想 0.3%・前回 0.2%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

<< 米企業在庫 >>

11月・10月・9月・8月・7月・6月・前年同月比

企業在庫	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	4.4
製造業	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.2	3.6
小売業	-0.3	0.0	0.2	-0.2	0.9	0.7	2.9
自動車・部品	-1.2	-0.5	0.3	-0.8	2.2	1.5	3.4
卸売業	0.8	0.6	0.4	0.6	0.3	0.2	7.1

11月・10月・9月・8月・7月・6月・前年同月比

企業売上	-0.2	-0.3	0.0	-0.5	0.7	0.6	2.2
製造業	-0.6	-0.9	0.1	-1.1	1.4	0.8	0.2
小売業	0.4	0.2	-0.2	0.6	0.2	0.4	4.5
卸売業	-0.2	0.0	0.0	-0.8	0.4	0.4	2.4

【米企業在庫】

企業在庫は、米国の製造業、卸売業、小売業の各業種の在庫状況を示す経済指標。一概にこの指数だけでは経済の良し悪しを判断できないという点があり、副次的指標として参考にするのが好ましい。

0 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・539 万バレル増加
ガソリン在庫・・・317 万バレル増加
留出油在庫・・・292 万バレル増加

0 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、東京や欧州の株価が軒並み大幅安となったことや、序盤に発表された米小売売上高が市場予想を超える下落幅だったことで、米経済の先行きに慎重な見方が広がり、主要株価は全面安の展開となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 237 ドル安まで下落する動きとなった。

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比+49.1%と 2009 年 2 月以来の大幅増となった。借り入れコストの低下を背景に、借り換え指数が+66.4%、購入指数が+23.6%と、それぞれ大きく上昇した。30 年固定金利型の住宅ローン金利は 3.89% (前週 4.01%) と 2013 年 5 月半ば以来の低水準、15 年固定金利型も 3.16% (前週 3.24%) から低下した。申請全体に占める借り換えの割合は 70.5% (前週 64.8%) を上回り、2013 年 5 月以来の高水準となった。

(2) 12 月の米小売売上高は、前月比-0.9%の 4429 億 3100 万ドルとなり、3 カ月ぶりのマイナスとなった。減少幅では、2014 年 1 月以来 11 カ月ぶりの大きさとなった。前年同月比では+3.2%となった。主力の自動車・部品や建材、総合小売りなど幅広い分野で減少し全体を押し下げた。

①品目・業種別では、主力の自動車・同部品が-0.7%、ガソリンスタンドは-6.5%と 2008 年 12 月以来の大きな落ち込み、総合小売りも-0.9%と 2010 年 12 月以来の減少率、また電子・家電は-1.6%、服飾も-0.3%だった。

②変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は、前月比-1.0%、前年同月比は+1.9%となった。

③2014 年の小売売上高は、前年比+4.0%の 5 兆 2712 億 2900 万ドルだった。

(3) 12 月の米輸入物価指数は、前月比-2.5%と 6 カ月連続でマイナスとなった。また、下落率は 2008 年 12 月以来 6 年ぶりの大きさとなった。燃料価格が引き続き下落したことが要因となった。そして、2014 年の年間では-5.5%となった。

①石油が前月比で-16.6%と 2008 年 12 月以来の大きな下落幅、前年同月比では-30.1%となった。石油以外の品目は前月比+0.1%、前年同月比では 0.0%。品目別では、原油が-18.6%、天然ガスは+15.3%、食品は+0.9%、自動車・部品は 0.0%となった。

②国・地域別では、メキシコを含む中南米は-3.6%と 2012 年 6 月以来の大きな値下がり、カナダも-4.7%と 2008 年 11 月以来の下落率、日本も+0.5%と 2013 年 4 月以来の下げ幅となった。また、EU も-0.4%、中国は 0.0%となった。

③輸出物価は、前月比-1.2%と 2012 年 6 月以来の大きな値下がりとなり、2014 年の年間では-3.2%となった。前月比で農産物は-0.7%、前年同月比は-4.9%。農産物以外の品目は、前月比で-1.2%、前年同月比では-2.9%となった。

(4) 11月の米企業在庫は、前月比+0.2%の1兆7635億7900万ドル、前年同月比では+4.4%となった。業種別は、製造業が前月比+0.1%、卸売業は+0.8%、小売業は-0.3%、自動車・同部品を除く小売業は+0.1%となった。小売業の内訳は、家具が+1.2%、総合小売りが+0.4%、一方自動車・同部品は-1.2%と2011年2月以来の大きな減少率となった。服飾や食品・飲料は横ばいだった。

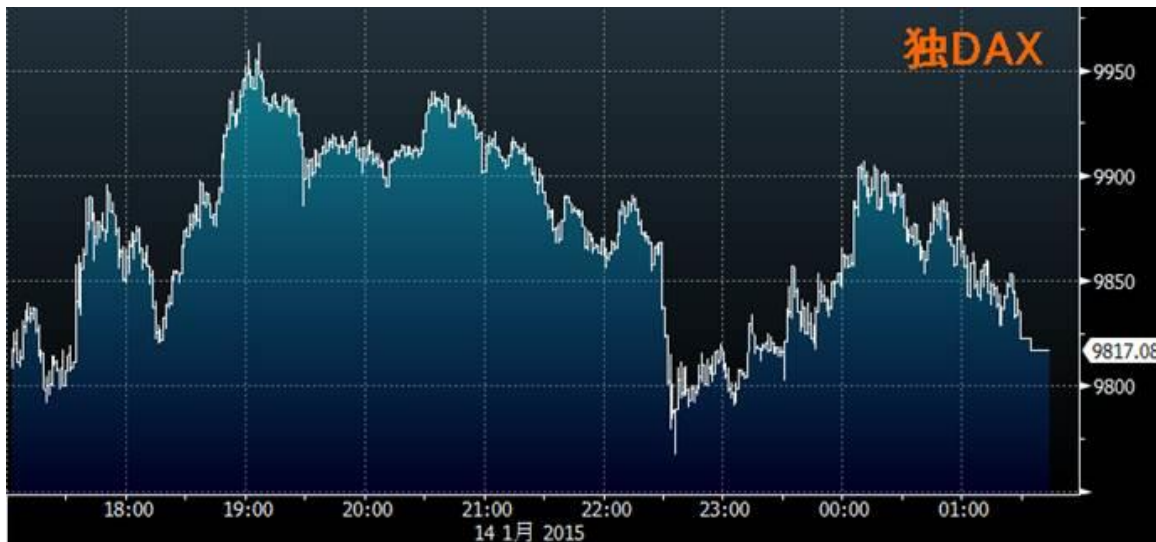
企業売上高は、前月比-0.2%の1兆3457億5300万ドル、前年同月比では+2.2%となった。業種別は、前月比で製造業が-0.6%、卸売業も-0.3%、小売業は+0.4%となった。在庫に対する売上高の比率は前月から横ばいの1.31となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6388.46	-153.76
仏 CAC40	4223.24	-67.04
独 DAX	9817.08	-123.92
ストック欧州 600 指数	339.67	-5.10
ユーロファースト 300 指数	1354.39	-21.37
スペイン IBEX35 指数	9846.00	-120.00
イタリア FTSE MIB 指数	18410.68	-298.25
南ア アフリカ全株指数	48057.46	-1375.54

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、世界経済の減速懸念から投資家がリスク回避姿勢を強めたことから、主要株価は大幅下落となった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17371.03 (-242.65)、 S&P500 2004.81 (-18.22)、 ナスダック 4627.07 (-34.43)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、12月の米小売売上高が市場の予想以上に落ち込み、米FRBの利上げ開始が想定よりも遅れるとの観測から、買いが膨らんだ。30年債利回りは一時、前日終値に比べて10bp低下の2.40%まで下がり、2011年7月以来約2年半ぶりに過去最低を更新した。米長期金利の指標となる10年債利回りは12bp低下の1.78%と、2003年5月以来約1年8ヵ月ぶりの低水準となった。

午前の利回りは、30年債が4.43%（前日2.50%）、10年債が1.83%（1.90%）、7年債が1.60%（1.67%）、5年債が1.29%（1.37%）3年債が0.82%（0.86%）、2年債が0.49%（0.54%）。

《欧州のポイント》

①ドラギ ECB 総裁は、独紙のインタビューで、ユーロ圏の物価安定の達成には緩やかな金融政策が必要との認識を示した上で、理事会はこの責務達成を決意していると述べた。中期インフレ目標の「2%弱」の水準を達成するには「低金利を続け、緩やかな金融政策を目指す」必要があると述べた。また、責務をどう達成するかについては理事会内でも意見の相違があるが「われわれには無限の可能性のあるわけではない」と指摘した。

②格付け会社は、ギリシャがユーロ圏を離脱する可能性は2012年のユーロ圏危機の時よりも低く、依然として現実となる可能性は低いとの見解を示した。ただ、ギリシャでの政治的混乱はユーロ圏離脱の確率を高めたと指摘した。格付け会社は、「この高まったリスクは、ユーロ圏の他の加盟国の格付けにマイナスの影響を及ぼす可能性がある。ただ、危機の最中に比べると、混乱が波及するリスクは著しく低い」とした。

③スペインのラホイ首相は、2014年の成長率が1.4%と政府予想の1.3%を上回ったとの見方を明らかにした。スペイン中央銀行も2014年の成長率予想を1.3%から1.4%に引き上げている。2015年については政府、中銀ともに2%の伸びを見込んでいる。

3:00

《米財務省 30年債入札》

最高落札利回り・・・2.430%（前回 2.848%）
 最低落札利回り・・・2.280%（前回 2.748%）
 最高利回り落札比率・・・29.89%（前回 90.67%）
 応札倍率・・・2.32倍（前回 2.76倍）

《海外の話題》

ロシアのシリアノフ財務相は、2015年度のロシアの予算について、原油価格が平均で1バレル＝50ドルの場合には、歳入は3兆ルーブル（456億ドル）減少するとの見方を示した。そして、国防費を除いたすべての歳出を10%削減すべきと語った。2015年の歳出を全体で+5%にとどめることが必要と指摘。従来は+11.7%を予定していた。

そして、原油価格が低水準で推移する見通しで、様々な問題に対応するために準備金を拡大する必要があるとも述べた。ロシアが予算の補てんのために積み立ててきた「準備基金」を、3700億ルーブル積み増すという。また国営ロシア通信によると、シリアノフ財務相はロシアの2015年の財政赤字について、対GDP比が3%を上回ることはないとの見通しも示した。

4:00

《 地区連銀景況報告 》

- ・「小売売上高は緩慢だが、大半の地区で増加」
- ・「大半の地区で緩慢ないし緩やかに成長」
- ・「住居用不動産の販売は横ばい、商業用は拡大」
- ・「ダラス連銀は成長鈍化を報告、原油安を指摘」
- ・「エネルギー関連製品の需要は全般に弱い」

- ・「サービス業の需要は緩やかな伸びを示した」
- ・「製造業活動は 12 地区の大半で拡大」
- ・「1 月 5 日以前のデータを基に作成」

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 0.10 ドル高の 1 オンス＝1234.50 ドルで取引を終了した。

5 : 20

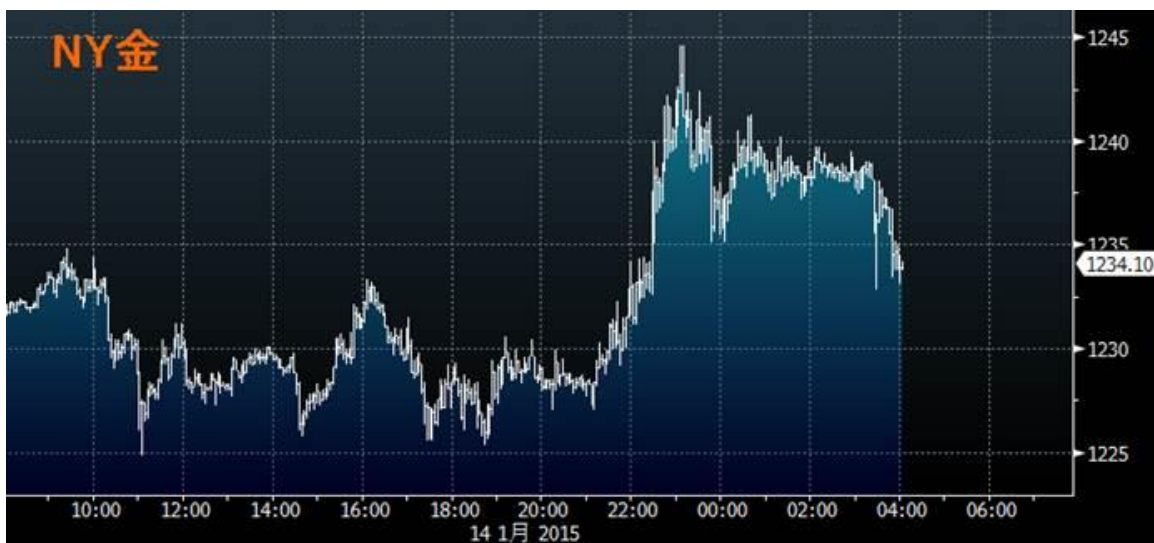
NY 原油は、中心限月が前日比 2.59 ドル高の 1 バレル＝48.48 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1234.50	+0.10
NY 原油	48.48	+2.59

(出所：SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

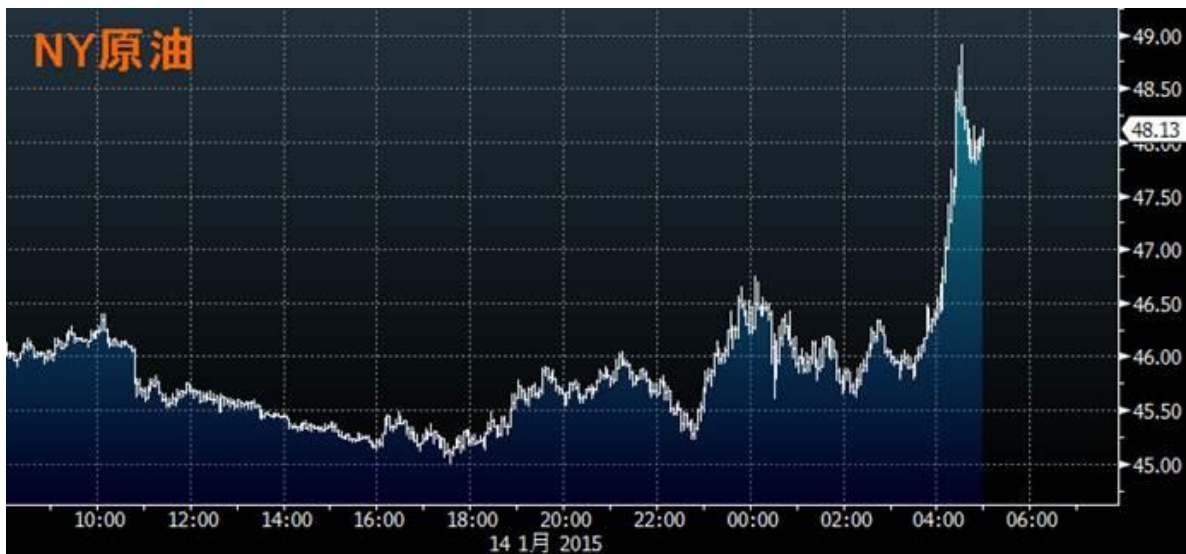
NY 金は、世界銀行が今年の世界全体の成長率見通しを下方修正したことに加え、12 月の米小売上高も市場予想を下回ったことで、比較的安全な資産とされる金の逃避買いが優勢となった。ただ、引けにかけては利益確定売りも出て、相場の上げ幅は縮小した。 終値ベースでは 2014 年 10 月下旬以来、約 3 ヶ月ぶりの高値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、前日に約 5 年 9 ヶ月ぶりの安値水準まで下落したことで割安感が出たことから、買いが優勢となった。ただ、米石油在庫統計で原油在庫が市場の予想以上に増えたことを嫌気して、下げる場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17427.09	-186.59	17609.06	17264.90
S&P500 種	2011.27	-11.76	2018.40	1988.44
ナスダック	4639.32	-22.18	4655.37	4595.98

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、東京や欧州の株価が軒並み大幅安となったことや、序盤に発表された米小売売上高が市場予想を下回る結果となったことを受けて、米経済の先行きに慎重な見方が広がり、主要株価は全面安の展開となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 348 ドル安まで下落する動きとなった。ただ、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。



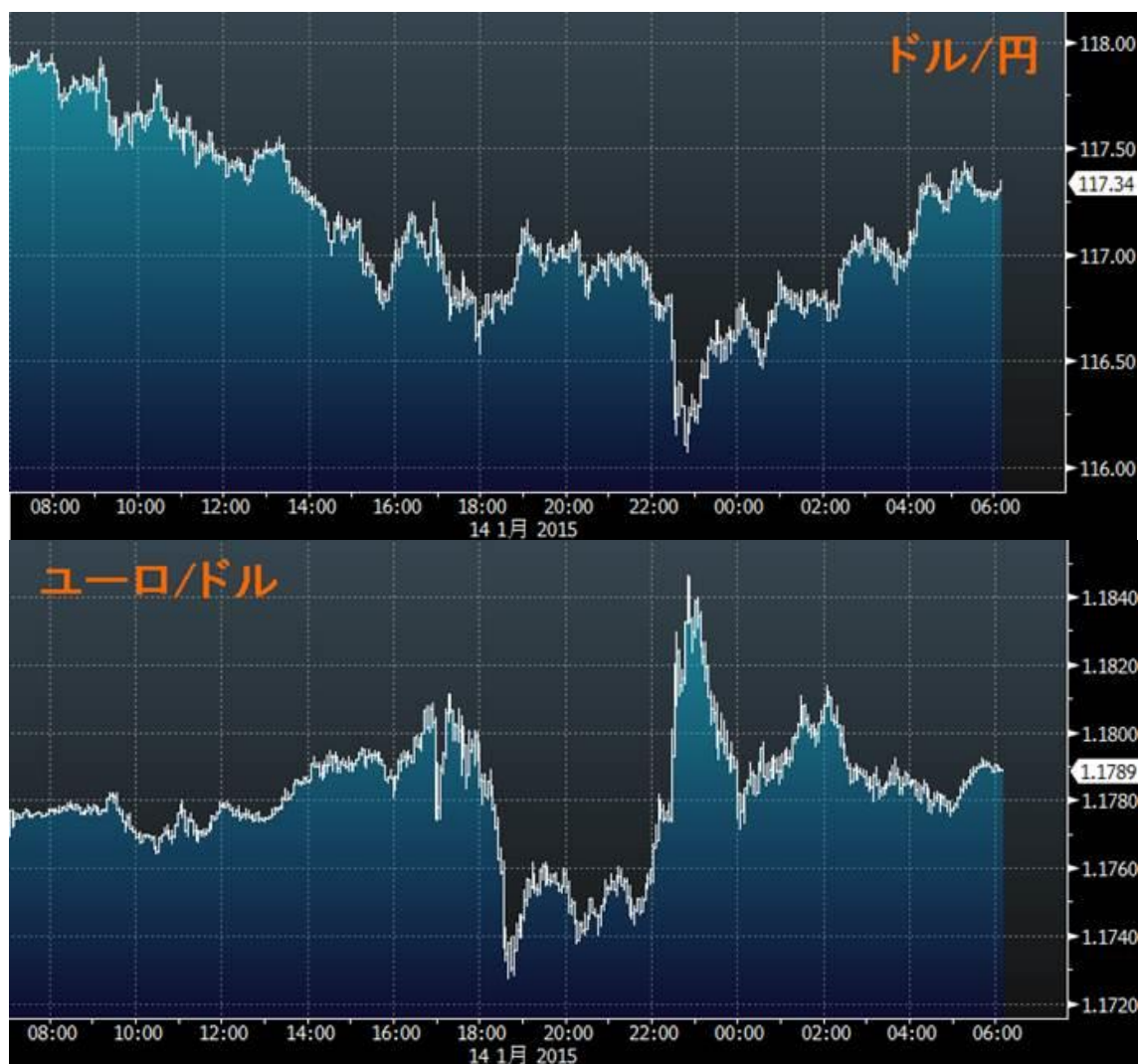
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.31	117.44	116.08
EUR/JPY	138.25	138.38	137.28
GBP/JPY	178.65	178.80	177.09
AUD/JPY	95.57	95.73	94.81
NZD/JPY	90.54	90.69	90.05
EUR/USD	1.1785	1.1847	1.1755
AUD/USD	0.8147	0.8179	0.8123

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が市場予想を下回る結果となったことから、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。また、株価が下落する動きとなったことから、クロス円も軟調な動きとなった。その後は、下落していた株価や、原油価格が大きく反発する動きとなったことから、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。



(出所: ブルームバーク)

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。